

# 妙法寺だより

今を生きる智恵と勇気ともに学び歩むお寺

VOL.260

夏号

7

2025 SUMMER  
季刊誌2025年7月発行



- ・令和7年 お盆のご案内
- ・人形供養・「薪」お分けします・ほおずき市 など
- ・9月浄心道場「講談会」のご案内
- ・住職のCoffeeTime 「百年先を見据えた境内整備」
- ・樹木葬タイプ墓地のご案内



皆さまの生活スタイルに合わせて  
より良いお盆をお過ごしください

まずは

## そとうば 卒塔婆の申込



お盆には卒塔婆をお建てし、その御心を捧げます。同封の「卒塔婆申込用紙」に必要事項をご記入いただき、7月末日迄に同封の返信封筒やFAX、卒塔婆専用の申込フォームからお申込ください。



▲申込フォーム▲

お申込の締切は**7月末日**

## ぼん じゅんぴ お盆の準備 ～お盆のお飾り～



お盆のお飾りで大事なことは

「末永く続けられるご先祖様へのおもてなしの心」  
販売されているお盆用品などを上手に使いながら、故人が好物だったもの、故郷の食べ物など心のこもったものをお供えいただくのが良いでしょう。



8/13 迎え火



ご先祖を偲んで

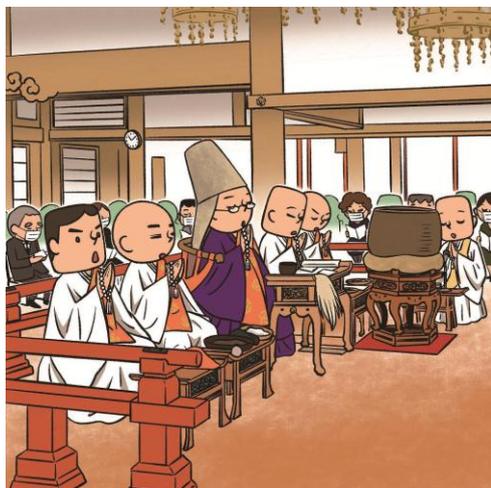


8/16 送り火

うらぼんほうよう

# 盂蘭盆法要 ～合同法要～

8月16日（土）午後2時より



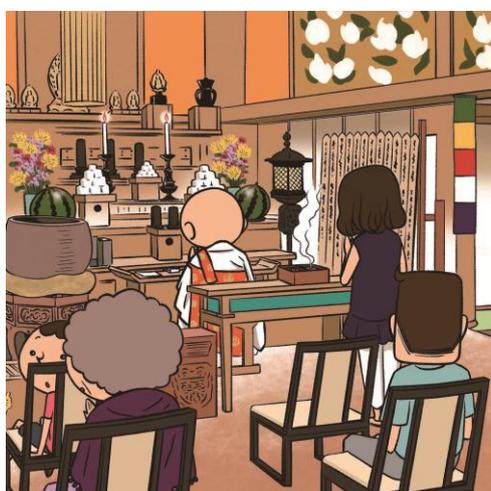
8月16日午後2時より、本堂にて「盂蘭盆施餓鬼会法要」を厳修いたします。この法要は、檀信徒の各家の先祖代々をはじめ、すべての精霊へのご供養をおこなう、古くから伝わる大切な盂蘭盆の行事です。当日は、多くの僧侶をお招きしてご供養いたします。法要後には、住職による法話も予定しております。ご家族おそろいで、どうぞご参拝ください。

こべっほうよう

# 個別法要 ～ご都合に合わせて～

8月9日（土）～ 15日（金）

午前9時～午後4時30分 ※15日は午前中で終了



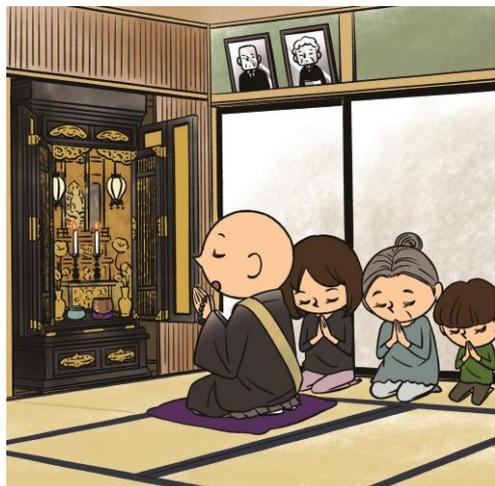
コロナをきっかけに始まった、新しいお盆供養のカタチです。上記の期間中、僧侶が個別にお盆法要を営みます。ご家族のご都合が合うタイミングでご供養いただけます。

- お申しいただきました卒塔婆にご供養し、お渡しいたします。
- ご自宅のお位牌をご持参ください、ご本尊にお供えしてご供養いたします。
- お経の時間は10分ほどです。



たな ぎょう  
**棚 経**

～お盆のお経をお届け～



**7月10日（木）～19日（土）**

7月のお盆にあわせて、僧侶が各ご家庭のお仏壇をお参りし、ご自宅にお戻りになっているご先祖さまへ向けて、読経のご供養をさせていただきます。

“年に一度はお仏壇でお経をあげたい、とお考えの方や、ご高齢やご体調の事情などでお寺へお越しになるのが難しい方にも、安心してご供養いただけます。

- 7月
- 10日（木）鎌倉市・藤沢市・栄区・瀬谷区・泉区
  - 11日（金）港北区・緑区・都筑区・港南区・南区・保土ヶ谷区
  - 13日（日）金沢区・磯子区・中区
  - 14日（月）旭区
  - 15日（火）戸塚区
  - 16日（水）鶴見区・神奈川区・西区
  - 17日（木）下・上矢部方面
  - 18日（金）歌舞伎方面
  - 19日（土）中村・金房方面

お電話でお申込みください。

ハガキが届かない方は、ご案内ハガキが届きます。

棚経に伺うお宅には日時の都合が合わない場合があります。

お盆棚経のご案内

下記の日時でお伺いします

様

月 日

お盆棚経中は一日に多くのお宅にお伺いするため、読経終了後に、時間が早まった早退したりする場合がございます。ご都合の悪い場合は、事前にお電話でお知らせください。

〒224-0001 横浜市磯子区磯子1-1-1  
 TEL: 045-451-0000 FAX: 045-451-7420  
 E-MAIL: info@shonin.or.jp

※毎年伺っているお宅には今年も予定通り伺います。

※新規でご希望の方は 7月9日までに電話でお申込みください。

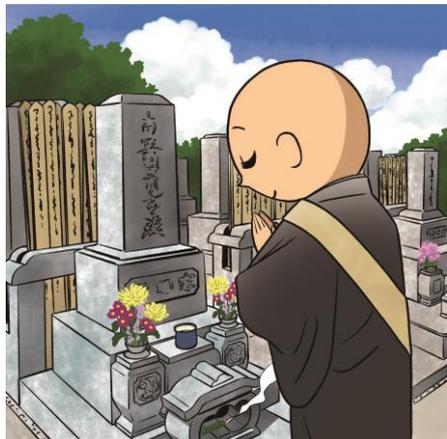


**縁日体験**

**8月9日（土）～8月15日（金）**

個別法要期間中、お墓参りに来たお子さま向けに縁日体験を行っております。受付でお申し出ください。

# はかまい だいこう お墓参り代行



「仕事の都合で帰省できない。体調がすぐれない。」等のさまざまなご事情でお参りに来られない方や卒塔婆を墓地に供えることが難しい方は、卒塔婆申込用紙にその旨をお書きください。お盆の法要が終わりましたらお寺で卒塔婆を墓地にお供えします。

- 後日報告書を郵送しております。
- 妙法寺に墓地がある方のみとなります。
- 卒塔婆料などは後日、郵便振込用紙を郵送します。



## 生花・お線香の販売

8月9日（土）～16日（土）

生花1対：1500円（線香付き） お線香：100円



## 駐車場

お盆期間中は、墓地裏口（小学校側）を臨時駐車場として開放しております。

※小学校前は7:00～8:30までは通行禁止となっております。



## お布施袋

お盆の供養料、卒塔婆料は「お布施袋」に入れて受付にてお納めください。

※表面：お名前 裏面：金額と内訳



## 古い卒塔婆

朽ちている古い卒塔婆は、お盆前に片付けさせていただきます。何卒、ご了承ください。



# 人形供養法要



“人形供養は行っておりますか？”というお問い合わせを多くいただきます。妙法寺では、皆さまの大切な想いが込められたお人形（ひな人形・五月人形・ぬいぐるみ等）に対し、心を込めてご供養いたします。妙法寺の人形供養は、他のご家族と合同で行うものではなく、おひとりおひとりのご事情に合わせ、個別に法要を執り行いますので、安心してお申込ください。



人形供養法要：10,000円

2体目からは1体1,000円

お焚き上げできないもの  
不燃物（陶器・ガラス・金属）・故人の遺品等は  
法要後に返却いたします



まき薪お分け  
薪します

夏休みのキャンプにご活用ください

伐採作業で出た樹木を薪にしました。檀家さん限定にてお分けしております。ご希望の方は、寺務所にお声掛けください。ガラ袋をお渡しします。

【1家族 ガラ袋1袋まで】



墓地にある薪棚



7/12  
土



本年も横浜東戸塚ライオンズクラブ主催の「ほおずき市」が、七月十二日 午前九時から午後三時頃まで妙法寺の境内で賑やかに開催されます。ぜひ、足をお運びください。

## 妙法寺の記念品がデザイン賞を受賞



昨年11月、日蓮聖人の御真筆修復事業でお配りした記念品のデザインが、デザイン誌『ブレン』にて特集掲載され、また岩手県にて開催されたデザインコンテストにおいて、準グランプリを受賞いたしました。とても喜ばしいことで、記念品のデザインに携わってくださった homesickdesign の皆様に、深く感謝申し上げます。

- ◎マネジメント : 玉木 春香
- ◎デザイン : 黒丸 健一
- ◎プロデューサー : 安田 ひとみ



妙法寺公式LINE



ともだち登録をお願いします

浄心道場・響語をはじめ、妙法寺のさまざまな行事やイベント情報などをお届けします。

四女  
桂葉の霊

講談 番町皿屋敷

ばん  
ちよう  
さら  
や  
しき

一龍齋貞鏡

いちりゆうさいていきよう

師匠



9月7日（日） 浄心道場

1部：午後3時～ 供養会（お経・瞑想・祈祷・供養）

2部：午後4時～ 法話会（9月は「講談会」）

● 一龍齋貞鏡さんのプロフィール

平成20年：八代目 一龍齋貞山門下に入門 平成24年：二ツ目昇進 令和4年：第77回文化庁芸術祭賞新人賞受賞 令和5年：真打昇進 現在五児の母として芸道と子育ての両立に邁進中

● コメント

江戸三大怪談の一つに数えられます『番町皿屋敷』。我々講談師は「冬は義士 夏はお化けで飯を食い」、夏になりますと怪談噺を申し上げるのが習いでございます。前回の浄心道場で四谷怪談を申し上げた折には、クライマックスで和蠟燭が突如として消えるという現象が。さて、今回はいかがになりますことやら…。皆さま方の目でお確かめくださいませ。』

# 妙法寺の人手不足と住職の健康診断

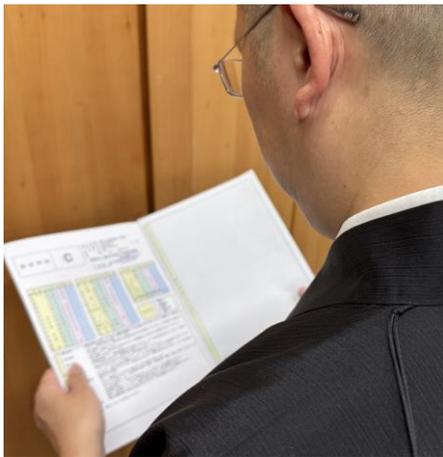
## 「心身一如」の教えが沁みてくる

現在、妙法寺では人手不足の状況が続いております。世の中の流れと同様に、私たちの寺院も例外ではないようです。

昨年、妙法寺で共に過ごしてきた松下上人と筒井上人の二人が、それぞれの道へと進みました。現在は、実家のお寺を支えながら、日蓮宗の総本山、身延山で行われている「信行道場」にて、修行僧の育成にあたる書記先生という大切な役割を担っています。二人とも、六月いっぱいまでしっかりと務めております。このように若手僧侶が巣立っていったことは、非常に喜ばしいことです。ただその一方で、妙法寺の現場は現在、人手不足の状況にあります。そのため、皆さまにはご不便をおかけする場面もあるかと存じますが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、そんな慌ただしい日々のなかで、しばらく後回しになっていた自分自身の健康と向き合うべく、久しぶりに健康診断を受けて参りました。結果は「C判定」。お恥ずかしながら、これまでで一番よくない評価でした。五十歳を目前に控え、若さに頼ってはいられない年齢になってきたのだと実感しております。

仏教では「心身一如（しんしんいちによ）」という言葉があります。心と身体は一つであり、どちらかが崩れると、もう一方にも影響を及ぼす——という教えです。身体が弱ると心も沈み、心が病めば身体にも不調が表れます。まさにその通りだと感じました。皆さまにも、どうかご自身の健康を大切にしてくださいと願っております。



4月から6月にかけて、各地よりお招きをいただき、さまざまな場でご縁を結ばせていただきました。檀信徒向けの法話会をはじめ、企業様を対象とした文化講座、東京での僧侶研修会、広島や大正大学における「地獄VR」の出張など、宗教や文化の垣根を越えた交流の機会をいただきました。そのなかでも特に印象深かった2つの催しについて、ご紹介させていただきます。

### 6月8日(日) 伊佐ホーム様 講演会にて

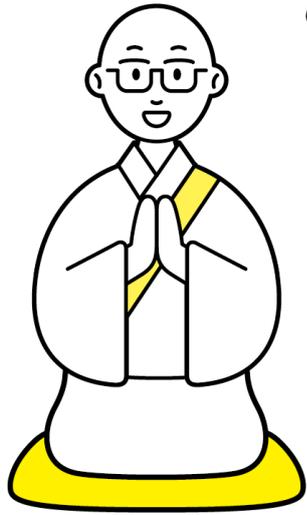
妙法寺の寺務所・受付棟を施工いただいた、伊佐ホーム様主催の講演会に登壇いたしました。二日間にわたる講演会では、他のご登壇者として「株式会社丸紅 取締役名誉顧問 國分文也 様」「機動戦士ガンダム原作者 富野由悠季 様」「気象学者・東京大学名誉教授 木村龍治 様」など、各界を代表する錚々たる方々が登壇。聴衆には経営者や文化人も多く、私は仏教の智慧を現代社会に活かす視点から「豊かに生きる仏教的生き方」についてお話させていただきました。

### 6月18日(水) 東京都四部布教講習会 登壇

日蓮宗東京都宗務所主催による僧侶研修会が、アートホテル日暮里にて開催され、講師として登壇させていただきました。「お寺の再編集」と題した講話では、妙法寺での実践事例をもとに、現代社会におけるお寺の在り方についてご紹介いたしました。時代の変化に応じながらも、仏教とお寺の“本質”を損なうことなく、表現や伝え方を柔軟に工夫する大切さを共有いたしました。



# 住職の



# Coffee Time



## 百年先を見据えた境内整備

妙法寺では現在、「百年先を見据えた境内整備」を進めています。

長らく手をつけられていなかった本堂周辺や駐車場の整備を実施し、現在は横浜市から土砂災害危険区域に指定されている通学路の擁護壁工事を進めています。ここは名瀬小・中学校の子どもたちが毎朝通う通学路であるため、災害時に備えた安全対策はインフラ整備を超えた地域と未来をつなぐ信頼の表れでもあると思っています。

今から二十五年前に先代住職である謙是上人が妙法寺開創七百年の記念事業として本堂の改築、山門と鐘楼堂の建立を行い、それまでの妙法寺とは見違えるほど立派なお寺となりました。その志を引き継ぎ、次の百年に向け四十七代目の住職として「何を遺し、どんな価値を未来に手渡すのか」を問い直しています。



大型重機を導入し、本堂周辺の樹木を伐採。釣られながらの作業は、まさにプロならではの姿でした。今回伐採を担当して下さった造園会社は、京都に本社がある「植藤造園」さん。金閣寺や寒川神社、横浜の三溪園など名だたる神社仏閣の造園に携わってきたプロの方々が担当していただきました。



擁護壁工事は、ライオンズクラブの仲間であり、妙法寺にもご縁の深いフューチャー・ランドスケープさんが施工してくれています。

# 境内整備の「教科書」

この整備計画の要となるのが、妙法寺のために制作された六十ページにも及ぶ「境内整備指針書」です。この指針書は、国内外問わず、庭園デザイナーとして活躍されている曹洞宗 建功寺住職であり、多摩美術大学名誉教授でもある

杵野俊明先生が一年がかりで構想し、制作してくださいました。この指針書は、名瀬の土地の歴史を遡り、地域に根付いている植物の分析やお寺を取り巻く環境の変化の課程を分析し、寺院の伝統を守りながら百年先に向けてどうあるべきかを示す妙法寺の「教科書」のような存在です。お寺を運営していく上で長期目線で物事を行うことを大事にしていますが、どうしても目先のさまざまな事に振り回されて迷うことがあります。この書がある事によって、今後の整備計画が迷いなく進められることが大変ありがたく、心強い存在となっております。



杵野俊明先生

曹洞宗の禅僧、建功寺のご住職、多摩美術大学名誉教授、外務省やカナダ大使館、寒川神社をはじめ、国内外で数々の庭園設計を手がけてこられた世界的な庭園デザイナー。仏教書の著作も多く、仏教学者、作家としてもご高名です。



「境内整備指針書」の1ページ目に記されている、境内整備が完了時イメージの鳥瞰図。完成は次の世代になることでしょう。

## AI時代におけるお寺の役割

今は情報や利便性がAI・デジタル化によって急速に変化する時代となりました。私自身もその恩恵を感じています。今までは時間も労力もかけて人間がやってきた事を、たった数分でAIがやってくれる時代になってきました。きっとここから更にいろいろなことが加速度的に変化していくと言われていきます。そんな流れの速い時代を生きていくには、しっかりと立ち止まれる場所がより求められるのではないかと思います。お寺に来て香を感じ、庭園を眺め、四季を感じ、僧侶の声に心を傾け、お経に心が静められる。そんな立ち止まる「場」としてのお寺の価値が深く問われてくる気がしています。そんな「百年先のお寺」に思いを馳せたコーヒータイトムでした。

妙法寺  
初

新しい墓地区画 9月完成予定

# 樹木葬タイプ

## 樹木葬タイプのポイント

### 使用期間を 自由に

使用期間を自由に設定  
することができ、長く  
維持しなくても大丈夫

### 後継者不在 でも安心

後継者が不在になった  
場合は、妙法寺が責任  
をもって永代供養

### お墓の不安は 全てお任せ

使用料には墓地の解体  
費用が含まれ、もしも  
の時はお任せください

お盆には一部の区画が完成しております  
是非ご見学ください ご希望の方は寺務所まで



## 住職のこだわりポイント



1. 周囲の石は、日本一高級といわれる香川県の和泉屋石材店の庵治石を使用（首相官邸などで使われています）。
2. お参りしやすい高さ。しゃがまなくてもお線香が供えられ、身体の負担を軽減。
3. 墓石のデザインが自由に。（奇抜なものはご遠慮ください）
4. 緑に囲まれ、心安らぐ墓所。
5. 高級ながらも求めやすい価格設定。